



50年の歩みを振り返り、新たな一步を踏み出します

校長 西宮良雄

去る11月20日(土)に、本校開校50周年記念式典が行われました。

当日は、数日前の雨天の予報から好天に変わり、小春日和の和やかな日となりました。

式典には全校児童を代表して5,6年生が参加し、ご来賓を含め340名余の参加を得られ、盛会となりました。改めてお礼申し上げます。

私は、50年前に本校創設に当たられた方々の熱意や努力を振り返ることを通して、改めて感謝の念を抱くと共に、向山小を更に良い学校にしていきたいと思います、と呼びかけました。

5,6年生は、開校50周年という大きな節目の年としての意義をしっかり受け止め、自ら式典を作り上げる立場として、主体的な態度で臨みました。来校された方々への礼儀作法を含めた心のこもった接遇や、呼びかけ、そして式典歌や校歌、区歌の合唱などに全力で取り組み、式典を大いに盛り上げ、50周年を祝うのに相応しい会にしてくれました。

参加された多くの方が感動され、5,6年生の熱心な態度に感心されていました。

また、当日、除幕式で披露・寄贈をいただいた記念制作のレリーフを始め、実行委員会やPTAの皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。



レリーフの制作には日本大学芸術学部美術学科の鞍掛純一先生や学生さんの全面的なご協力を頂きました。また、作品は信楽焼になっていますが、滋賀県の大塚オーミ陶業さんが焼いて下さいました。制作に当たられた方々のご紹介旁、深くお礼申し上げます。

尚、体育館外壁に設置されたレリーフは、全校児童並びに全職員も制作に携わりました。

子供たちが大好きなこの場所で、毎日、作品に触れることを通して、心が和んだり、啓発を受けたりして、思いやりや優しい心、そして思い出が育まれることを期待しています。

ふれあい月間(11月)、そして人権週間(12月4日～10日)を通して

練馬区では、毎年11月を「ふれあい月間」として、区内全小中学校で関わりづくりなどを通して、いじめ防止や不登校の予防などに取り組んでいます。また、区内全校での毎年共通の取り組みがあり、今年度は「いじめ防止標語」作りでしたが、

・ いじめだめだよ みんなで明るい楽しいクラスにしよう

・ やめようよ 暴力・暴言 いけないよ

など、ごく一部ですが、作例をご紹介致しました。

12月の人権週間の取り組みも通して、子供たちの人間関係をより豊かなものにし、思いやりや温かな心で接し合い、お互いが安心して過ごせるように指導して参ります。